

## 平成 29 年度第 1 回 ISO/TC46/SC4 委員会議事録

1. 日時：2017 年 7 月 19 日(水)14 時から
2. 場所：日本図書館協会会館 5 階 会議室 1
3. 出席者：

委員	宮澤彰	国立情報学研究所名誉教授
	五十嵐健一	慶應義塾大学
	大向一輝	国立情報学研究所
	大場高志	日本図書館協会
	長田孝治	株式会社ロゴヴィスタ
	小島裕一	株式会社リコー
	奥田倫子	国立国会図書館
	村田良二	東京国立博物館
	中野茂	大日本印刷株式会社
事務局	光富健一	情報科学技術協会

#### 4. 配布資料：

- ・平成 28 年度第 2 回 ISO/TC46/SC4 国内委員会議事録
- ・資料 1：平成 29 年度戦略的国際標準化加速事業：政府戦略分野に係る  
国際標準開発活動実施計画書  
(テーマ名：デジタルアーカイブの利活用に関する国際標準化)
- ・資料 2：デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子 (ILII)  
DIS 投票結果について
- ・資料 3：ISO/TC46 プレトリア総会報告
- ・資料 4：ISO/TC46/SC4 投票報告
- ・資料 5：ISO/TC46/SC4 投票審議案件
- ・資料 6：標準化テーマ調査票
- ・Revision of ISO639-4 (長田委員より)

#### 5. 議題：

##### 5-1)自己紹介

メンバー変更があったこともあり(橋詰委員から奥田委員へ)各自の自己紹介を行った。なお、安形リーダーが急遽不参加であったため、議事進行は宮澤委員が担当することになった。

#### 5-2) 平成 29 年度実施計画 (資料 1)

宮澤委員より、資料 1 を用いて今年度の実施計画について説明が行われた。今年度は平成 27 年度より 3 年間の実施計画の最終年度に当たる。

今年度の目標とする以下の 3 件について、概要説明と現在の状況について説明が行われた。

デジタルアーカイブ利活用のための国際標準化

ISO22038 となる 10 月に CD 投票用の WD を完成させ、11-12 月に CD 投票を開始する予定。

デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子 (資料 2)

2017.07 をメ切として DIS 投票が終了している。その結果を資料 2 として配布している。コメント有。状況としては、FDIS は省略として秋には国際標準として出版の条件が整う予定。

デジタルアーカイブ国際標準化活動のための環境整備

資料の通り、活動を行っていくことが確認された。

#### 5-3) ISO/TC46 プレトリア総会報告 (資料 3)

- ・ 2017 年 TC46/SC4 Revision ISO 15836 Dublin Core 会合報告 (資料 3 / 2 2 p.)  
Dublin Core に関する ISO15836 を、基本の 15element set とメタデータ語彙(DCMI Metadata Terms)等を分け、それぞれ ISO15836-1 と ISO15836-2 とするための活動について報告。ISO15836-1 は 2017.5 に出版されている。ISO15836-2 は NWIP が終わり、CD 投票に向け WG で修正作業をしている状況。
- ・ TC46/SC4 JWG ePUB (JTC1/SC34 JWG7) 報告 (資料 3 / 2 3 p.)  
ePUB 文書を長期保存するためにどのようなメタデータを付けるのが良いか、を中心に議論が進行中。2016 年に NWIP 投票が行われ承認されている。JTC-1/SC37 が 7 月に東京で開催されるため、そこでも JWG を開催する予定。
- ・ その他、TC46/SC4 総会などについて、資料に沿っての報告がなされた

#### 5-4) ISO/TC46/SC4 投票報告 (資料 4)

この間の投票についての報告。1 件のみであった。

5-5) ISO/TC46/SC4 投票審議案件（資料5）

2017.8.11 までの FDIS 投票案件が 1 件ある。

Information and documentation -- Data exchange protocol for interoperability and preservation についてのも。対応としては、DIS の際のコメント等の確認、また内容に変更があったかなどを確認の上、Yes/No で投票。No の場合は、コメントが必要となる。

5-6) 標準化テーマ調査票（資料6）

来年度からの 3 年間へ向けた新規の国際標準開発に向けたテーマについて報告があり、懇談を行った。

5-7) その他

- ・TC37 リエゾン委員から TC46 と TC37 で JWG として作業を行っている言語コード（ISO639 関連の改定について、TC37 のウィーン会議における状況について報告があった。

(以上)